

# 重信川源流探訪

令和元年11月27日(水)

令和元年11月27日(水)に松山河川国道事務所職員10名で令和初の『重信川源流探訪』を実施しました。

天候は曇り。比較的穏やかな天気の中、東三方が森の標高約1,000mにある重信川源流を目指しました。

近年は出水等で源流探訪は見送られていましたが、登山口までの悪路を乗り越え、なんとか実施でき、平成23年に設置した『重信川源流点モニュメント』を確認することができました。



木地から悪路を車で約40分



準備をして、さあ源流に向けて出発です。



最初の沢渡りです。  
源流までの沢の始まりです。



幻想的な風景。体力的にはまだまだ余裕。



不規則な岩場は結構きついです。



急斜面はロープを使って登ります。  
慎重に。



【二段落ちの滝】  
ほぼ中間点です。ここで休憩。



二段落ちの滝を過ぎると霧が出始めました。



倒木の森を進みます。



源流近くの石積みの堰。



霧の中、源流点モニュメントが見えてきました。



源流点モニュメントは  
しっかりと鎮座していました。



源流で昼食休憩。  
少し寒さを感じます。



絆石に想いを書いてモニュメントに入れました。  
今までに訪れた人たちの絆石も無事残っています。



【記念撮影】



源流の紅葉を眺めながら下山開始です。



急斜面は下りの方が恐怖感が大です。



上りより下りの沢渡りは危険。



何回もロープを使って降ります。慎重に。



やっと最初の沢近くまで降りてきました。



無事に下山。車までは落ち葉の絨毯です。

今回は登り3時間、下り2時間、計約5時間の行程でした。  
風雪に耐え、源流点でしっかり鎮座しているモニュメントを確認することが出来ました。  
源流への神々しい道のりには、いつも圧倒されます。